JP-UM-A-4-105906

[Title of the Invention] VALVE TIMING CONTROL DEVICE FOR INTERNAL COMBUSTION ENGINES

[Constitution] Cycloidal reduction gears are applied, and a drive mechanism 17 rotates a planetary gear 12, of which a center is eccentric a predetermined magnitude e from centers of a timing sprocket 1 and a cam shaft 2, forward or rearward in accordance with an operating state of an engine. A force generated by such rotation of the planetary gear 12 is transmitted in a state of maximum deceleration to a rotating plate 9 via a pin 16 and a pin hole 13. Accordingly, the cam shaft 2 rotates forward or rearward relative to the timing sprocket 1 to provide for accurate and sure phase shift.

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開実用新案公報 (U)

実開平4-105906

(43)公開日 平成4年(1992)9月11日

(51) Int.Cl.⁸

畝別記号 广内盛理番号

FI

技術表示箇所

F01L 1/34

B 6965-3G

F 1 6 H 1/32

· A 8009-3J

審査請求 未請求 請求項の数1(全 2 頁)

(21)出願番号

突扇平3-9663

(22)出願日

平成3年(1991)2月27日

(71)出顧人 000167406

株式会社アツギユニシア

神奈川県厚木市恩名1370番地

(72) 考案者 始田 誠次

神奈川県厚木市恩名1370番地 株式会社ア

ツギユニシア内

(72) 考案者 大西 秀明

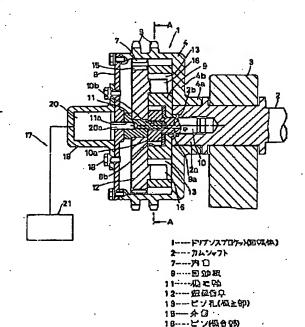
神奈川県厚木市恩名1370番地 株式会社ア

ツギユニシア内

(74)代理人 弁理士 志賀 富士弥 (外3名)

(57)【要約】

【目的】 タイミングスプロケット1とカムシャフト2 との相対回転位相変換角度を大きくすることができると 共に、貨飛び等を防止して前記相対回転位相変換を正確 かつ砲突に行なうことができる。



17---- 學 中 科科

【契用新案登録前求の范囲】

【開求項1】 機関により区別される間状の回転体と該回転体から回転力が伝達されるカムシャフトとの相対回転位相を変換して、吸気・排気パルプの開閉時期を制御するパルプタイミング制御装置であって、前記回転体の内周に内歯を殴ける一方、カムシャフトの回転体側一端部に周方向に複数の係止部を有する回助板を固定すると共に、該回助板の外端側に中心がカムシャフトのゆ心と偏心しかつ外周に前配内歯と配合する外歯を有する遊星歯卒を設け、更に該逆星歯卒の周方向に前配各係止部が 10 連記する複数の係合部を穿改すると共に、該遊星齿卒を概関返転状雄に応じて正逆回転させる区別模綱を設けたことを特徴とする内燃機関のパルプタイミング制御装置。

【図面の簡単な説明】

【図1】本考案の一実施例を示す健断面図。

【図2】図1のA-A線断面図。

【符号の説明】

1…ドリプンスプロケット(回転体)

2…カムシャフト・

7…内齿

9…回劲板

11…偏心轴

12…避星齿阜

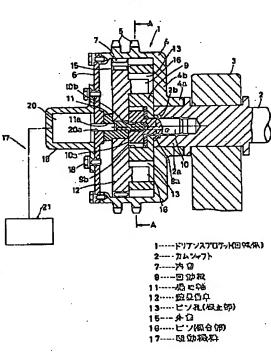
13…ピン孔 (係止部)

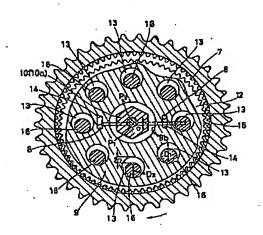
15…外齿

16…ピン (係合部)

17…瓜奶橙料

【図1】





[図2]